令和 年(借チ)第 号 賃借権譲渡・土地転貸許可申立事件

)

答 弁 書

東京地方裁判所 □民事第22部 □立川支部 借地非訟 係	御中
令和 年 月 日	
(あなたに対する裁判所からの郵便物の送り先(送達場所)) 〒 - 住 所	
T E L — — — F A X — —	
相 手 方	印]してください。
附属書類 1 答弁書副本 2 委任状(弁護士が代理人になるとき)	通通
(この答弁書の書式は東京地裁のホームページからダウンロードすること	:ができます。)

第 1	申立ての趣旨に対する答弁 申立てを却下する 申立てを乗却する 相当の財産上の給付をき との裁判を求める。	受けること	を条件として申	立てを認容する
	借地権の存否 借地権があることは認定 一借地権を設定したことに 一借地権を設定したに消滅 一部では、令和の理由に対 のである。 では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部	まない。 ハる。 月 日 月 日 イ滅	契約解除 期間満了 建物朽廃	
2	借地権の存否に関する事件(事件は係属していない。 事件が係属している。 裁判所名 事件番号 平成・令和 事 件 名	裁判所)第 事件	号
1	賃貸借契約の内容等 契約当事者 1) 現在の当事者 □ 認める。 □ 否認する。 □ 賃貸人 □ 賃借人			

	(2) 契約当初の当事者□ 認める。□ 知らない。
	□ 否認する。□ 賃貸人又は土地所有者は□ 賃借人又は地上権者は
2	最初に契約を締結した日 □ 認める。 □ 知らない。 □ 否認する。契約締結は、昭和・平成・令和 年 月 日 (□契約書は乙第 号証 □当初の契約書はない)
3	賃借権の目的となる土地 □ 認める。 □ 否認する。申立書添付の土地目録のうち異なる部分及び相手方の主張は以下のとおり。
4	契約の種類 □ 認める。 □ 否認する。契約の種類は
5	借地条件 □ 認める。 □ 否認する。借地条件は
6	存続期間 (1) 最初に契約を締結したときの約定 □ 認める。 □ 知らない。 □ 否認する。 □ 昭和・平成・令和 年 月 日まで又は契約締結後 年間
	□ 定めがない。

	(2)	契約更新の有無 □ 認める。 □ 知らない。 □ 否認する。 □ 更新の状況は以下のとおり
		□ 更新したことはない。
	(3)	残存期間 □ 認める。 □ 否認する。令和 年 月 日まで(あと 年 か月)
7		上存する建物 建物の現況 □ 認める。 □ 否認する。申立書添付の建物目録のうち異なる部分及び相手方の主張 は以下のとおり。
	(2)	使用状況 □ 認める。 □ 否認する。使用状況は以下のとおり。 □ 自己使用 □ 賃貸 □ その他()
8	地 (1)	1代 現在の地代 □ 認める。 □ 否認する。
		平成・令和 年 月 日以降 1 か月 円 (□ 1 坪□ 1 m² 当たり 円)

	(2)		代の推 認める 知らな 否認す	 	也代の推	移は次	のとおり) 。			
	(3)		認知否とおけれる。	い。 い。 つ。 う。 で で を で を の を の を の を の を の で る の も の で る の も の の る の を ろ の る の を の を の を の を の を の を の を の を の を	昭和•	請求の平成・平成・	有無とそ	年	月	下のとおり 日 日以降	0
9]	更新料 別める。 1らなV	↓その化 \。	也の金銭	の支払	状況 以下のと	こおり			
4		物の] 意	「の理由)譲渡季 気見はな	契約 (予 ない。							

第

 2 本件賃借権の譲渡(転貸)が賃貸人に不利となるおそれのない理目(1)譲渡(転貸)を必要とする事情 □ 意見はない。 □ 意見は以下のとおり。 	∃
(2) 譲受(転借)予定者の職業、資力その他の事情 □ 意見はない。 □ 意見は以下のとおり。	
3 その他、申立ての却下・棄却を求める理由□ 特にない。□ 更に付け加える理由は以下のとおり。	
第5 当事者間の協議の概要 □ 認める。 □ 否認する。当事者間の協議の概要は以下のとおり。	

付随処分に関する意見・希望 申立人から受ける財産上の給付 □ 申立人が提示する金額でよい。 □ 意見・希望はない。 □ 提示金額は不服であるから、次のとおり希望する。 (1) 金額 円 (2) 算定根拠
地代 □ 現状のままでよい。 □ 意見・希望はない。 □ 変更後の地代が1か月 円となる増額を希望する。 (□1坪□1㎡当たり 円)
その他
過去における借地非訟事件・賃料増減額請求事件の状況 借地非訟事件 □ 認める。 □ 申立書記載のもののほか、以下の事件が存在する。 事件番号 平成・令和 年(借チ)第 号 事件 鑑定委員会の意見書 □ あり(乙第 号証) □ なし □ 申立書記載の事件のうち、以下の事件は存在しない。
賃料増減額請求事件 □ 認める。 □ 申立書記載のもののほか、以下の事件が存在する。 事件番号 平成・令和 年()第 号 事件 鑑定人の鑑定書 □ あり(乙第 号証) □ なし □ 申立書記載の事件のうち、以下の事件は存在しない。